第40講　資本主義の成立

1　政商資本と労働者の誕生

①日本資本主義の特質

A　自主的な発展ではなく，先進資本主義国の技術を導入・育成。

B　**政府の保護・育成**により，資本の原始的蓄積(ちくせき)過程が急速に進行。

☆官営事業とその払い下げ，軍事工業優先策。

C　発展の不均衡が顕著(けんちょ)（経済の二重構造）

☆小農経営・家内工業・中小企業の広範(こうはん)な存在。

D　**農村の窮乏(きゅうぼう)と労働者の低賃金を背景に，輸出依存度が高い。**

☆海外市場獲得のため，軍事力を背景に侵略に乗り出す。

---

②松方デフレ財政（1881年～86年ごろ）

A　デフレ政策による不換(ふかん)紙幣整理・正貨蓄積(ちくせき)

デフレ政策が引き起こした深刻な不況(ふきょう)により，自作農・中小地主が没落。

↓↓↓

あ　**寄生地主**

現物小作料の販売利益を株式会社に投資，または企業を設立。

い　**貧農**

出稼(でかせ)ぎ型労働者として，低賃金で労働力を提供（＝廉価(れんか)商品の創出）。

☆購買力(こうばいりょく)に乏しく，国内市場を狭(せば)める。

B　**軍事工業・鉄道を除く，官営事業の払い下げ。**

三井・三菱（岩崎）・古河などの**政商資本を育成。**

C　意義

資本の原始的蓄積と低賃金労働者の創出＝**資本主義の前提が完成**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈*Note*〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　第１次産業革命（日清戦争前後）

①企業勃興(ぼっこう)（1886年～89年ごろ）

Ａ　輸出超過傾向　　　　（1882年～86年）

Ｂ　**貨幣制度の安定**　　　　**（1885年～，銀本位制の確立）**

Ｃ　**松方デフレの不況脱出（1886年～）**

↓↓↓

物価の安定・金利の低下により株式取引が活発化，産業界が活気づく。

↓↓↓

鉄道・紡績を中心に**会社設立ブーム**が起こる。

↓↓↓

1890年，過剰(かじょう)生産による株価暴落・新興企業解散・綿糸価格低落が起こり挫折(ざせつ)。

☆**日本初の経済恐慌（1890年恐慌）**

---

②資本主義の成立（1900年ごろ，紡績業・製糸業中心）

日清戦争後，戦勝景気により企業勃興が再発して**資本主義**が本格的に成立。

☆**1900年（～01年）**，綿花(めんか)の輸入増にともなう正貨(せいか)減少を契機に，過剰生産・株式高騰(こうとう)の反動で**日本初の資本主義恐慌**が発生。企業の倒産や銀行の休業が相次(あいつ)ぎ，紡績業は操業時間短縮を余儀(よぎ)なくされた。

---

③貿易の拡大

Ａ　貿易規模の拡大

第１次産業革命の進展にともない，貿易の規模は拡大。しかし，原料品・重工業製品の輸入などにより，**大幅な輸入超過**となる。

あ　**輸出品**　**生糸**・絹織物**（欧米向け）**，**綿糸**・綿織物**（アジア向け）**など

い　**輸入品**　**綿花**・砂糖・米・**機械類**・鉄類など

Ｂ　**商社**の活動

益田孝(ますだたかし)社長の三井物産会社など

☆イギリスなどの列強に独占されていた貿易の実務を支える。

Ｃ　貿易金融の活発化

横浜正金(しょうきん)銀行（1880年設立，87年から特殊銀行）の活躍。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④軽工業の発達

A　**紡績業**

あ　生産技術の進歩

手紡（てつむぎ）

↓↓↓

ガラ紡（1873年，**臥雲辰致**（がうんときむね／たっち）が発明）

↓↓↓

機械紡績の登場（1880年代＝イギリス製ミュール紡績機）

☆**大阪紡績会社**（**1882年**，**渋沢栄一**らが設立〔翌年開業〕），鐘淵（かねがふち）紡績会社（東京府）など６大紡績会社の設立。

↓↓↓

機械紡績の発展（1890年代＝アメリカ製リング紡績機）

い　生産の増大

1890年　綿糸生産量が輸入量を上回る

1893年　日本郵船会社が**ボンベイ〔インド〕航路**を開設

☆安価（あんか）なインド綿花の輸入が可能となる。

1894年　綿糸輸出関税免除法

1896年　綿花輸入関税免除法

1897年　綿糸輸出量が輸入量を上回る

☆綿花の輸入（中国・インド・アメリカなど）が増大，綿業貿易の輸入超過傾向は激化。

B　綿織物業

幕末以来衰退していたが，農村の問屋制家内工業を中心に次第に復興。

☆飛び杼（ひ）（イギリス人ジョン＝ケイが発明）を採用し，従来の手織機（ておりばた）を改良。

C　**製糸業**

欧米向け輸出産業として幕末から発展，日本の最大の外貨獲得手段。

☆紡績業の原料となる綿花や紡績機械の輸入に必要な外貨を獲得。

☆1894年，**器械製糸の生産量が座繰（ざぐり）製糸の生産量を上回る。**

D　絹織物業

羽二重（はぶたえ）生産がさかんになり，力織機（りきしょっき）も導入された。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤鉄道の発達

A　**民営**

1881年　**日本鉄道会社**設立

☆第十五銀行〔華族銀行〕を中心に設立された，**日本最初の私鉄会社**。

☆上野～高崎間（1884年全通），上野～青森間（1891年全通）

1889年　営業キロ数で民営鉄道が官営鉄道をしのぐ。

1892年　鉄道敷設（ふせつ）法

☆山陽鉄道・九州鉄道など民営鉄道ブーム起こる。

B　**官営**

1889年　**東海道線全通（東京～神戸間）**

---

⑥海運の発達

A　**日本郵船会社**（1885年設立）が新航路を開設，貿易発展の条件を整える。

1893年　**ボンベイ〔インド〕航路**

☆わが国初の遠洋定期航路。

1896年　ヨーロッパ・アメリカ・オーストラリア航路

☆その他の海運会社として，東洋汽船会社などがある。

B　政府の保護

1896年　**航海奨励法・造船奨励法**

☆日清戦争における商船の功労に報いる。

☆外貨の節約と戦時の軍用船確保をはかる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦金本位制の確立

日清戦争の賠償金を基礎とする**戦後経営**。

A　財政の膨張，軍備拡大政策

B　金融・貿易面からの産業振興政策

あ　**貨幣法**（**1897年＝金本位制の確立**，１円＝金0.75ｇ）

かねてから銀価格の低落が目立ち，世界の大勢（たいせい）も金本位に傾いていたため，**第二次松方正義内閣**が施行（しこう）。

☆ヨーロッパと同様の金本位制を採ることで金銀相場変動の影響を失くし，貿易を発展させようとした。

い　**特殊銀行**の設立

1887年　**横浜正金（しょうきん）銀行**⇒80年に設立，この年特殊銀行化。

☆外国貿易金融専門の銀行。

1897年　日本勧業銀行

☆農業・工業の改良・発展を目的とした長期融資を行う。

1898年～各府県の農工銀行

☆地主層に資金を低利で長期間貸し付けた。のち日本勧業銀行に合併。

1899年　**台湾銀行**

☆植民地台湾の中央銀行。

1902年　日本興業銀行

☆長期・大口（おおぐち）の産業資金の需要に応じることを目的とする。

1911年　**朝鮮銀行**

☆植民地朝鮮の中央銀行。

---

⑧重工業の勃興（ぼっこう）

日清戦争の賠償金を利用，官営の軍需工業中心。

1897年　**官営八幡（やはた）製鉄所設立**

☆ドイツの技術を背景とし，農商務省が北九州に建設。

1901年　**官営八幡製鉄所操業開始**

☆**清（のち中華民国）の大冶（だいや）鉄山から鉄鉱石を輸入**。石炭は福岡県の**筑豊（ちくほう）炭田**（のち満州の撫順（ぶじゅん）炭田も）を利用。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　第２次産業革命（日露戦争前後）

①綿織物業の躍進

日露戦争後，大紡績会社の兼営や輸入大型力織機（りきしょっき）の活躍による。

A　販売組合を結成し朝鮮・満州市場へと進出

B　**豊田佐吉**（とよださきち）**がわが国初の国産力織機**を考案（1897年）

☆農村部において，小工場での機械生産への転換が進行。

---

②繊維（せんい）製品輸出の伸張

アジア市場へ進出（朝鮮・中国〔とくに満州〕に依存）

1909年　綿織物の輸出量が輸入量を超える　（アジア向け）

生糸輸出量が清を抜いて世界最大となる（アメリカ向け）

---

③貿易の拡大

A　貿易額の急増（1897年＝3.8億円⇒1912年＝11.5億円）

繊維工業製品の輸出と綿花の輸入が激増

B　アジア市場への進出

あ　朝鮮

綿織物の移出・米の移入

い　台湾

米や砂糖の移入

う　満州

綿織物の輸出・**大豆粕**（だいずかす）の輸入

C　貿易収支の悪化（危機的状況）

あ　慢性的な輸入超過（輸出超過は1906年・08年のみ）

い　巨額な外国債の利払いに追われる（増税で対応）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④重工業の発達

官営の軍事工業と民間の造船業が牽引（けんいん）。

A　**電力事業**

水力発電の本格化，大都市では電灯が普及。

B　鉄鋼業

1906年　官営八幡製鉄所の大拡張

1907年　**日本製鋼所**の設立

☆海軍の援助を背景に，三井とイギリスのアームストロング・ヴィッカース両社の提携で北海道室蘭（むろらん）に設立された，**民間**の兵器製鋼会社。

C　造船業

日露戦争後，造船・造艦技術は世界的水準に達する。

☆**三菱長崎造船所（長崎県）**・川崎造船所（兵庫県）など

D　工作機械業

池貝（いけがい）鉄工所（東京府）がアメリカ式旋盤（せんばん）の国産化に成功。

☆しかし大半の工作機械は，欧米からの輸入に頼った。

E　電気機械業

芝浦製作所（東京府）など。

---

⑤鉄道の発達

1906年，**鉄道国有法**により，民間の主要幹線17社を買収（**第一次西園寺公望内閣**）。

☆経済界の不況や**軍事的な配慮から**，全延長約90％を国有化。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

4　財閥の形成

①財閥

一族の独占的出資による資本を基礎に，**持株会社**を中心に結合した巨大コンツェルン。

②成立

A　産業革命の進展による大資本家の創出

☆政府から極めて厚い保護を受ける。

B　1900年恐慌〔資本主義恐慌〕，1907〔明治40〕年恐慌〔日露戦後恐慌〕を経て資本が集中。

③種類

A　**四大財閥⇒持株会社**を本社として発展

あ　**三井財閥⇒三井合名会社**（1909年設立）が中心

江戸時代，**三井高利**（たかとし）が創始した越後屋呉服店・三井両替店が発展。はじめ**井上馨**（かおる），のち**立憲政友会**と結んだ**戦前最大の財閥**。金融・軽工業・商業部門を中心に多岐にわたり発展。

い　**三菱財閥⇒三菱合資会社**が中心

創始者は土佐藩出身の**岩崎弥太郎**。はじめ大久保利通や**大隈重信**，のち**憲政会〔立憲民政党〕**と結ぶ。海運・鉱業部門を中心に多岐にわたり発展。

う　**住友財閥⇒住友総本店〔のち住友合資会社〕**が中心

江戸時代より別子銅山（伊予（いよ）国）を経営する住友家〔泉屋（いずみや）〕が発展。鉱業・金融部門を中心に発展。

え　**安田財閥⇒安田保善社**が中心

創始者は幕末の両替商**安田善次郎**。保険・金融部門中心に発展。

B　その他の財閥

あ　**古河**（ふるかわ）**財閥**（創始者＝**古河市兵衛**（いちべえ））

足尾銅山（栃木県）など鉱山業を中心に発展。

い　**浅野財閥**（創始者＝**浅野総一郎**）

セメント製造業を中心に発展。のち京浜工業地帯を造成。

う　川崎財閥（創始者＝川崎正蔵（しょうぞう））

川崎造船所（兵庫県）など重工業中心に発展。

え　大倉財閥（創始者＝大倉喜八郎（きはちろう））

土木鉱業部門を中心に発展。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5　農業の停滞

①米作中心の零細経営

大豆粕などの金肥の普及や**品種改良**（1893年設置の農事試験場など）により，生産量は増加。

☆しかし，都市人口の増加により供給量は不足がち。

---

②商品作物の変化

安価な輸入品に押され，綿・麻・菜種・藍・大豆などの生産は衰退。

↓↓↓

産業革命の進展にともなう生糸輸出の増加に刺激され，桑の栽培や養蚕は隆盛。

☆明治末期には全農家の３分の１が養蚕を副業としていたので，とくに**アメリカ**での生糸価格の動きが，日本の農村経済にも多大な影響を与えるようになった。

---

③小作地率の増大（明治末期には約45％を占める）

寄生地主と資本主義との結合が強まる。

☆高率の現物小作料を元手に企業を設立。または内国債や銀行・会社の株式に投資。

☆日本勧業銀行・各府県の農工銀行による資金供給が，寄生地主の農村における経済力を強めた。

---

④政府による農民の組織化

1899年　農会法

☆農業の発達・改良をはかる農会に補助金を交付。

1900年　産業組合法

☆産業組合の設立を促す。

1909年～**地方改良運動**

☆協同事業に成功した村を模範村として，その事例を全国に紹介した。

1910年　帝国農会の設立

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤下層農民の生活

小作農へ転落，子女の出稼ぎ（口減らしのため）や副業で家計を補塡。

☆都市にも大量に流入。**貧民窟**〔スラム〕に住みつき，日露戦争前後に社会問題化。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6　社会運動の発生

①低賃金労働者の増加

A　男性

産業革命の進展とともに，農村で生活できなくなった貧農の二男以下が東京・大阪などの大都市へ流入し，貧民窟〔スラム〕を形成。

☆重工業，工場外労働（鉱山・運輸・造船・通信など）に従事。

B　女子

繊維（せんい）工業に集中（家計補助のための出稼ぎ）

---

②労働問題の発生

労働者は，成立したばかりの資本主義のもとで低賃金・長時間労働を強いられた。

A　**女工〔工女〕**の虐待（ぎゃくたい）

貧農出身の若い女子が低賃金で雇われ，みじめな食事と不潔な寄宿舎のために結核（けっかく）などの病気にかかる者も多かった。

あ　紡績業

12～16時間の昼夜２交替制，低賃金。

☆**細井和喜蔵（ほそいわきぞう）『女工哀史（じょこうあいし）』**（1925年）

い　製糸業

14～18時間労働，低賃金。

☆**山本茂実（しげみ）『あゝ野麦峠』**（1968年）

B　坑夫の虐待

鉱山や土木工事の現場には，労働者を拘禁（こうきん）し労働を強制する納屋（なや）制度〔飯場（はんば）制度〕が存在し，ときには囚人労働が使用されることもあった。

高島炭鉱問題（1888年）

☆三宅雪嶺（せつれい）らの政教社が雑誌『日本人』で劣悪（れつあく）な労働環境を発表，政府も経営者である**三菱**に待遇（たいぐう）改善を勧告。

C　実情の調査

あ　**『日本之（の）下層社会』（1899年，横山源之助（げんのすけ））**

労働者・小作人の実態を調査し，産業革命期の矛盾（むじゅん）を指摘した。

い　**『職工（しょっこう）事情』**　　　（1903年，**農商務省**）

工場法（1911年制定）立案の基礎資料となる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③組織的労働運動の発生と発展

A　ストライキの発生

あ　**甲府雨宮製糸工女スト（1886年）⇒日本初のストライキ**

い　大阪天満紡績工女スト（1889年，94年）

B　**職工義友会（1897年）**⇒同年，**労働組合期成会**に改組（～1901年）

あ　アメリカ帰りの**高野房太郎・片山潜**らが結成

い　共済活動に重点を置き労資協調的

う　鉄工組合・日本鉄道矯正会・活版印刷工組合などが結成される。

え　**機関紙『労働世界』**は日本初の労働組合雑誌

C　**足尾（銅山）鉱毒事件**（1891年～**初の公害事件**）

あ　**渡良瀬川**流域の漁業・農業に大被害

い　**栃木県**の代議士**田中正造**が議員を辞職，天皇に直訴（1901年）

う　谷中村の廃村と遊水池の設置で決着（1907年）

D　**小作争議**の増加

小作人組合が結成されはじめる。

E　**治安警察法（1900年，第二次山県有朋内閣）**

第5条で女性の政治参加を規制。第17条で労働者の団結権・罷業権〔ストライキ権〕を制限。

F　**工場法の制定（1911年，第二次桂太郎内閣）**

あ　**15人以上を使用する工場のみに適用**，12歳未満の年少者の就労を禁止。

い　15歳未満の年少者及び女子の就業時間は12時間を限度とし，深夜業は禁止。

う　製糸業での14時間労働や，紡績業での深夜業を認めるなどの例外規定が多いザル法であった。

G　**工場法の施行（1916年，第二次大隈重信内閣）**

資本家の反対で，この年まで施行が延期されていた。

---

④その他の社会運動

A　廃娼運動

東京婦人矯風会の結成（1886年，矢島楫子ら）

☆のち日本基督教婦人矯風会に発展。

B　慈善事業

救世軍の結成　　　（1895年，山室軍平ら）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤社会主義運動

1897年　社会問題研究会

1898年　社会主義研究会

☆**安部磯雄・片山潜・幸徳秋水（しゅうすい）・木下尚江（なおえ）ら**

1900年　社会主義協会

☆社会主義研究会を改称，改組。

1901年　社会民主党⇒初の社会主義政党（非合法）

☆安部磯雄・片山潜・幸徳秋水・木下尚江らが結成。

☆**第四次伊藤博文内閣**は，治安警察法により**直後に結社禁止**を命じる。

1903年　平民社

☆新聞『万朝報（よろずちょうほう）』を退社した**幸徳秋水・堺利彦**らが結成。

☆**週刊『平民新聞』**を発行，**反戦論**を展開。

1906年　日本社会党⇒初の合法的社会主義政党

☆堺利彦・片山潜らが結成，日刊『平民新聞』を発行。

☆1907年，**議会政策派**（片山潜ら）と**直接行動派**（アメリカから帰国した幸徳秋水ら）が対立，**第一次西園寺公望内閣**は直接行動派を危険とみなし，治安警察法により結社禁止を命じる。

---

⑥社会主義運動の弾圧

1908年　赤旗（あかはた）事件

☆堺利彦・山川均・荒畑寒村（あらはたかんそん）・大杉栄（さかえ）らの直接行動派を逮捕。

☆**第一次西園寺公望内閣**は責任を取り総辞職。

1910年　大逆（たいぎゃく）事件

☆**第二次桂太郎内閣**が，天皇暗殺計画の容疑で**社会主義者・無政府主義者**26名を大逆罪で起訴（きそ）。

☆翌年，全員が有罪判決を受け**幸徳秋水**・管野（かんの）スガら12名が死刑となる。

☆**石川啄木（たくぼく）**は『**時代閉塞（へいそく）の現状**』を著し政府を批判。

1911年　大逆事件の判決

☆警視庁内に**特別高等課〔特高〕**とよばれる思想警察を設置。以後，社会主義運動は“**冬の時代**”に突入。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 40 講　確認テスト

1　後藤象二郎のち三菱に払い下げられた，長崎県の炭鉱〔炭坑〕とは？

①　三池炭鉱　　②　高島炭鉱　　③　筑豊炭鉱　　④　夕張炭鉱

2　新潟県佐渡金山・兵庫県生野銀山の払い下げ先とは？

①　三井　　②　三菱　　③　住友　　④　古河

3　わが国初の資本主義恐慌が発生した年とは？

①　1890 年　　②　1897 年　　③　1900 年　　④　1907 年

4　1873 年，長野県の臥雲辰致が発明したものとは？

①　ガラ紡　　②　座繰　　③　飛び杼　　④　力織機

5　1882 年，大阪紡績会社を設立した中心人物とは？

①　岩崎弥太郎　　②　五代友厚

③　浅野総一郎　　④　渋沢栄一

6　綿糸輸出量が輸入量を上回った年とは？

①　1890 年　　②　1894 年　　③　1897 年　　④　1909 年

7　1881 年，第十五銀行〔華族銀行〕を中心に設立された，わが国初の私鉄会社とは？

①　北海道炭礦鉄道　　②　日本鉄道

③　山陽鉄道　　④　九州鉄道

8　1897 年に農商務省がドイツの技術を利用して設立, 1901 年に操業開始となった官営工場とは？

①　釜石製鉄所　　②　八幡製鉄所

③　日本製鋼所　　④　鞍山製鉄所

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　1880年，当時の大蔵卿大隈重信が設立し，87年に特殊銀行化した外国貿易金融専門の銀行とは？

①　横浜正金銀行　　②　日本銀行
③　日本勧業銀行　　④　日本興業銀行

10　1897年，わが国初の国産力織機を考案した人物とは？

①　渋沢栄一　　②　浅野総一郎
③　豊田佐吉　　④　御木本幸吉

11　戦前，欧米向け輸出産業として日本の最大の外貨獲得手段となった産業とは？

①　紡績業　　②　製糸業　　③　鉄鋼業　　④　電気機械業

12　紡績女工の苦労を描く『女工哀史』の著者とは？

①　三宅雪嶺　　②　横山源之助
③　細井和喜蔵　　④　山本茂実

13　もと職工義友会という，1897年に高野房太郎・片山潜らが結成した団体とは？

①　労働組合期成会　　②　友愛会
③　日本労働総同盟　　④　日本労働組合総評議会

14　わが国初の公害事件「足尾鉱毒事件」で天皇に直訴した，栃木県選出の衆議院議員とは？

①　幸徳秋水　　②　木下尚江　　③　田中正造　　④　島田三郎

15　1906年に結成された，わが国初の合法的社会主義政党とは？

①　社会主義研究会　　②　社会民主党
③　日本社会党　　④　日本共産党

解答

1	②	2	②	3	③	4	①	5	④
6	③	7	②	8	②	9	①	10	③
11	②	12	③	13	①	14	③	15	③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。